

# 都市フォーラム39号

東北都市学会通信（通巻39号）

2025年8月1日

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

## 主なトピック

1. 2025 年度大会のお知らせ
2. 2025 年度大会研究発表の募集
3. 日本都市学会 2025 年度大会
4. 2024 年度理事会を開催
5. 2024 年度会員会を開催
6. 日本都市学会 2024 年度大会
7. 石巻支部会を開催
8. 『研究年報』第 21・22 号発送について
9. 会員の状況
10. 2025 年度会費納入のお願い
11. 東北都市学会役員
12. 事務局から

## 1. 2025 年度大会のお知らせ

2025 年度東北都市学会大会は**福島県いわき市・福島工業高等専門学校にて 12 月 6 日(土)・7 日(日)に開催**することになりました。会員の皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

**参加の可否については、10 月 31 日(金)までに右に記載の専用フォームからお申し込みください。**参加を希望された方には、後ほど詳細をお送り致します。なお、大会参加費は 1,000 円(学生 500 円)、懇親会費は後日お知らせいたします。

### [2025 年度大会開催要項]

12 月 6 日(土)

12～17 時 エクスカーション  
双葉郡富岡町周辺

18 時～ 懇親会(富岡町 or いわき市内)

12 月 7 日(日) 福島工業高等専門学校

9 時半 受付開始(専攻科棟 1F)

10～12 時 研究発表(専攻科棟 1F)

12～13 時 会員会(専攻科棟 1F)

※理事会は 11 月末までにオンライン開催を予定しています。

## 2. 2025 年度大会研究発表の募集

2025 年度大会における自由報告の発表を募集いたします。**10 月 31 日(金)までに下に記載の専用フォームからお申し込みください。**申し込み後に事務局から詳細のご連絡を差し上げますので、連絡がない場合は念のためお問い合わせ下さい。

### [発表申込要領]

- ・ 発表の申し込みは**以下に記載の専用フォームを使用して下さい。**
- ・ **発表申込締切は 10 月 31 日(金) (必着)。**
- ・ 共同発表の場合は、すべての共同者の名前を書き、発表者は名前の後ろに○印をつけて下さい。また、発表者は 4 人以内とします。
- ・ 取り消しの必要が生じた場合は、直ちに事務局に連絡して下さい。

### [参加申込フォーム]

参加の可否については、以下の URL を開き **10 月 31 日(金)**までに専用フォームからお申し込みください。スマートフォンやタブレットの方は QR コードもご利用いただけます。

<https://forms.gle/RNB7g4H8GuzEKqRs5>



### [発表要旨作成要領]

発表要旨は次の要領で作成してください。

- ① 用紙サイズは A4 で、Word ファイルとして作成して下さい。印刷余白は上下左右とも 25mm とって下さい。
- ② ページ設定を 40 字×40 行にして下さい。
- ③ 発表題目は 16 ポイント・ゴシックに指定し、センターに置いて下さい。副題は 12 ポイ

- ント・ゴシックにしてください。
- ④ 名前(所属)は 12 ポイントにし、右に揃えて下さい。
  - ⑤ 題目と名前の間、および名前と本文の間に 1 行余白を入れて下さい。
  - ⑥ 本文は 12 ポイントにしてください。
  - ⑦ 要旨は、A4 用紙 2 頁に収めて下さい(一人分です。共同の場合は 6 頁以内です)。
  - ⑧ 要旨は電子メールによる添付ファイルで提出してください。
  - ⑨ 発表申込締切は **10月31日(金)** です。発表要旨の送付締切日は **11月14日(金)** です。厳守をお願いします。
  - ⑩ 要旨のフォーマットは学会 HP に掲載しますので、そちらもご活用ください。
  - ⑪ 要旨の送付は 電子メールを使用して下さい ([matsu@socio.kindai.ac.jp](mailto:matsu@socio.kindai.ac.jp))。 ※送付先にご注意ください。

#### [発表要領]

- ・ 発表内容は、都市に関する研究報告、調査研究報告、都市施策・まちづくり・地域づくり等の実践報告を主とします。
- ・ 個人発表・共同発表いずれの場合も **発表、質疑応答、交代時間を含めて 30 分** とします。 **※発表者数により 20 分になる場合もあります**
- ・ 時間を厳守して下さい。
- ・ 当日の発表や資料配布方法などは申し込み者に追ってご連絡します。

### 3. 日本都市学会 2025 年度大会

日本都市学会第 72 回大会(主催:日本都市学会・九州都市学会)は佐賀大学を会場に開催することになりました。開催日は 2025 年 11 月 7 日(金)~11 月 9 日(日)の 3 日間です。日本都市学会会員の方々の参加をお待ちしております。

[大会特設ページ]

<https://urbanology-saga.peatix.com/>



### 4. 2024 年度理事会を開催

2024 年度の理事会は、2024 年 10 月 22 日(火)にオンラインで開催しました。理事会の議事は次の通りです。

1. 2023 年度事業報告
2. 2023 年度決算(案)
3. 2024 年度事業計画(案)
4. 2024 年度予算(案)
5. 会員の状況
6. 東北都市学会『研究年報』投稿・編集について
7. その他

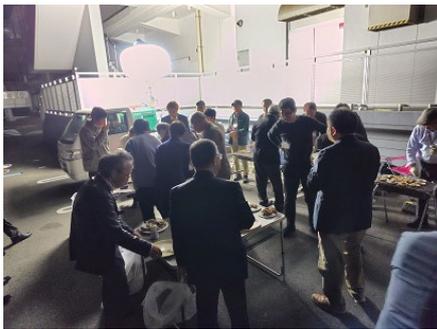
### 5. 2024 年度会員会を開催

2024 年度の会員会は、2024 年度日本都市学会・東北都市学会石巻大会の 2024 年 10 月 27 日(日)に開催しました。会員会の議事は次の通りです。

1. 報告事項
  - (1) 2023 年度事業報告
  - (2) 2023 年度決算報告
2. 審議事項
  - (1) 2024 年度事業計画(案)
  - (2) 2024 年度予算計画(案)
3. その他
  - (1) 会員の状況
  - (2) 東北都市学会『研究年報』投稿について
  - (3) その他

### 6. 日本都市学会 2024 年度大会

日本都市学会第 71 回大会(主催:日本都市学会・東北都市学会、後援:石巻市、石巻専修大学、三陸河北新報社(石巻かほく))は石巻魚市場を会場に 2024 年 10 月 25 日(金)~10 月 27 日(日)の 3 日間で開催しました。大会テーマ「災害と文明—Reborn と希望—」として、研究発表は 31 件、シンポジウム 60 人、特別セッション「避難と帰還のあいだ」25 人、エクスカージョン 24 人、懇親会 60 人と盛況に終わりました(写真上から松村茂東北都市学会長、齋藤正美石巻市長、平川新サン・ファン館館長、懇親会・バーベキュー会場)。本大会を開催するにあたり、石巻支部会の皆さまには大変お世話になりました。あらためて御礼申し上げます。



## 7. 石巻支部会を開催

2025年度の石巻支部会は第1回4月10日(木)、第2回5月15日(木)、第3回7月3日(木)の夜にそれぞれ同市内で開催し、十数名が参加しました(写真は第3回)。本年度は平川新サン・ファン館館長提案による「川村孫兵衛生誕450周年記念・石巻新市制施行20周年記念シンポジウム 地域創生の先駆者・川村孫兵衛一石巻と仙台藩発展の礎を築

いた先人」開催に向けた支部会員による具体的な方針に関する意見交換が行われました。詳細は決まり次第、東北都市学会 HP でもご案内いたします。東北都市学会員の方々の参加をお待ちしております。



開催日:2025年11月30日(日)

会場:石巻専修大学(5301教室)

石巻市長挨拶(13:30)

第1部(13:40~15:20)

趣旨説明

平川新(サン・ファン館館長)

「伊達政宗の国づくりと石巻」

講演

泉田邦彦(石巻市博物館学芸員)

「石巻の戦国時代」

蝦名裕一(東北大学准教授)

「川村孫兵衛の地域づくり」

齋藤善之(東北学院大学教授)

「石巻の川と海をつなぐ」

第2部(15:30~16:10)

パネル・トーク 石巻の未来創造—孫兵衛と政宗の精神をどう活かすか

交流会(石巻駅近辺)

## 8. 『研究年報』第21・22号発送について

会の予算規模から隔年刊行となっておりますが、『研究年報』第21・22号は2025年末発送を目指し編集中です。

また、次の『研究年報』第23・24号の論文を募集しています。13号から継続している東日本大震災関連の論文、またコロナ禍や能登半島地震に関連する調査研究の募集も同時に行っておりますので、投稿ご希望の方は学会事務局までお問い合わせください。学会誌のコンスタントな発行と内容の充実をとおして、東北都市学会の一層の盛り上げを図ろうと考えておりますので、ふるってご応募ください。また、上記に限らず自由投稿論文は随時受け付けていま

す。「論文」、「研究ノート」、「フィールド・ノート」、「都市情報」、「書評」、「文献紹介」、すべてのジャンルで受け付けます。投稿にあたっては、研究年報各号に掲載している[研究年報投稿規程]にしたがって原稿を作成のうえ、下記『研究年報』編集委員会宛にお送りください。なお、投稿は **Word 形式の論文データを添付した電子メール**でお願い致します。

### 『研究年報』編集事務局

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 G-6C  
近畿大学総合社会学部  
松本行真研究室気付  
E-mail [matsu@socio.kindai.ac.jp](mailto:matsu@socio.kindai.ac.jp)

## 9. 会員の状況 2025年6月末現在

一般個人：50 一般学生：3 団体：1  
(日本都市学会会員 54)  
地域個人：24 地域学生：1 (地域会員 25)  
合計会員数 79

## 10. 2025年度会費納入のお願い

2025年度の会費納入をお願いします(過年度分も含む)。学会の活動は、会費によって支えられています。会員の皆様の迅速な納入をお願いいたします。うっかり滞納をされている会員もおられるかと思えます。納入にご協力ください。

**また、2年続けて会費が支払われない場合、除名することもありますのでご注意ください。**

会費は**以下の口座宛に、銀行振込にてお支払い下さい。**会費は次のとおりです。

### [会費]

一般個人会員 9,000円

地域個人会員 5,000円

一般学生会員 7,000円

地域学生会員 3,000円

団体会員

東北都市学会費 10,000円×口数+日本都市学会費 4,000円

### [会費の納入先]

ゆうちょ銀行 18140-27225001 東北都市学会  
七十七銀行 仙台市役所支店 (普) 5253861  
東北都市学会 会長 松村茂

## 11. 東北都市学会役員 (2024.10~2026.9)

会長 松村 茂:【本部支部会長理事】  
理事 北原 啓司(青森)  
理事 石沢 真貴(秋田)  
理事 佐藤 慎也(山形)  
理事 吉野 英岐(岩手):編集担当  
理事 増田 聡(宮城):【本部支部選出理事】  
理事 初沢 敏生(福島)  
理事 岩動 志乃夫:研究活動担当  
理事 佐々木 万亀夫  
理事 齋藤 美和子  
理事 松本 行真:【本部会務担当理事】事務局  
理事 関口 駿輔  
理事 仙台市  
(担当:まちづくり政策局政策企画部政策調整課)  
監事 齊藤 綾美、田淵 義英  
※ 本部の理事体制の刷新を機に、会務担当理事(旧常任理事)が変更になりました。

## 12. 事務局から

- ▼ 『都市フォーラム』は東北都市学会 HP でもご覧になれます。
- ▼ 『研究年報』第23・24号は自由投稿論文に加え、引き続き災害関連の調査研究報告の特集を行います。多くの会員の皆さまからの応募をお待ちしております。
- ▼ 今年度のいわき大会のエクスカージョンは原子力災害の被災地である富岡町周辺をめぐる、その後懇親会も開催する予定です。新幹線もなく、各所からアクセスしにくいところですが、ぜひふるってご参加下さい。

\*\*\*\*\*  
都市フォーラム 39号  
東北都市学会通信  
2025年(令和7年)8月1日発行  
編集発行 東北都市学会事務局  
〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1 G-6C  
近畿大学総合社会学部  
松本行真研究室気付  
Tel 06-6721-2332 (内線 3262)  
E-mail [matsu@socio.kindai.ac.jp](mailto:matsu@socio.kindai.ac.jp)  
<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>  
.....